

新明解説

ダイバーシティ人財経営の指針

～ いい会社づくりは多様な人材の採用と活用から！～

株式会社クオリティ・オブ・ライフ 代表取締役 原 正紀

□長く続く「いい会社」をつくるために

企業の人材難についての記事が、新聞紙面などを大いに賑わしています。アルバイトを正社員に転換する企業、外国人やシニアなどの人材を活用する企業、働き方に関する規定を見直す企業など、人材マネジメントや雇用システムを官民挙げて再考している状態です。

これは一過性の出来事ではなく、人口減少社会を背景とする構造的な動きです。単なる変化対応ではなく、これからの時代に永続する「いい会社」をつくるための、必然的な動きなのです。多様でスピーディな変化の時代には、組織の中に多様性を内包しなければなりません。

必要な人材を確保するだけでなく、組織の質を変えていくための新しい人材マネジメントの姿として「ダイバーシティ人財経営」を説明して、その方向性を示していきます。

目次

- 1 人口減少時代の企業経営へのインパクト
- 2 採用に失敗する会社と成功する会社の違い
- 3 いい会社とはどんな会社か
- 4 変わる採用戦略、ダイバーシティ採用編
- 5 ダイバーシティ人材の活用
- 6 ダイバーシティ組織をつくる
- 7 組織づくりは目先の利益より長期的視点で
- 8 人財経営のススメ



●原 正紀(はら まさのり) 株式会社クオリティ・オブ・ライフ 代表取締役 www.qol-inc.com
早稲田大学法学部卒業後、大手メーカーを経てリクルートへ入社し、企業や官公庁、大学などへの提案活動を行った後に起業。採用・定着・育成・人事制度構築などに関する提案を行い、多数の企業の成長・変革をサポートしてきた。併せて官公庁や教育機関に対して幅広く人財関係の提案活動を行っている。これまで2,000人を超える経営者と面談し、新たな人財課題の解決、新時代における人と組織のベストマッチング、若者からシニアまでの個人のキャリア支援、学生のトランジションサポート、外国人留学生支援など活動は多岐にわたる。座右の銘「一日一歩」。

一般社団法人留学生支援ネットワーク 理事。高知大学客員教授、成城大学非常勤講師。中小企業診断士、ITコーディネーター、GCDFキャリアカウンセラー。

著書に『間違だらけの会社選び』(アチーブメント出版)、『採用氷河期』(日本経済新聞出版社)、『優れた企業は日本流』(扶桑社)、『人が集まる、定着する! 会社の採用』(すばる舎)など多数。